

「和僑」500人沖縄集結



和僑アジア大会 in OKINAWAへの参加を呼び掛ける(左から)栗田智明副代表幹事、金城和光代表幹事、伊波貢副代表幹事=28日、県庁

11月に那覇でアジア大会

日本人経営者のネットワークを通して国内やアジアにおけるビジネス交流の拡大を目指す「和僑会」の第2回アジア大会が11月25、26日の両日、那覇市のザ・ナハテラスで開催される。「琉球から日本を変える」

今、再び大交易時代へ」をテーマに、県内や香港などで活躍する起業家らの講演会やセミナー、国際ビジネス展示会が開かれる。

海外・県外から各1000人、県内から3000人の計約5000人の参加を予定している。28日、県庁で会見した沖縄和僑会の金城和光代表幹事(沖縄ヒューマンキャピタル社長)は「海外の文化やビジネスのやり方を言葉の壁がなく学べるのが和僑会の強み。沖縄からアジアにつながるビジネスの糸口を見つけ出してほしい」と多くの企業関係者の参加を呼び掛けた。

本大会では、香港貿易發展局日本首席代表の古田茂美氏による講演のほか、舞台演出家の平田大一氏が教

育や文化で地域おこしに取り組み自身の活動などを紹介する。国際ビジネス展示会では75の和僑会員や関係団体がブースを出し、各社の商品や展示販売する。

和僑会は2004年に香港で発足し、現在上海やシンガポール、台湾など15地域に約20000人の会員がいる。ことし、大連やベトナムにも支部ができる予定で、交流ネットワークが急速に拡大している。沖縄和僑会には30社の企業関係者が登録している。伊波貢副代表幹事(海邦総研取締役)は「中国などアジア地域でビジネスをはじめめるきっかけの交流となることを意識して参加してほしい」とPRした。

交流商機につなげて

11月開催 和僑大会 展示、講演など実施

中国など海外で活動する県内経営者でつくる沖縄和僑会(金城和光代表幹事)は28日、県庁で会見を開き、県内での11月開催が決定していた「第2回和僑ア



「第2回和僑アジア大会」の概要を発表する沖縄和僑会の金城和光代表幹事(中央)ら=28日、県庁

シア大会2010 in OKINAWA」(主催・和僑会本部、沖縄和僑会)の日程や大会内容を発表した。第1回大会は昨年、中国の深圳で開催。今回は那覇市のザ・ナハテラスを主会場に、会員以外の出展も可能で入場無料の「国際ビジネス展示会」(25、26日)、セミナーや講演、名刺交換会などを行う本大会、大交流会(いずれも26日)などを実施する。

沖縄和僑会では、海外や県内外から約5000人の参加を見込む。金城代表幹事は「大会では人的交流を通して海外の情報を入手し、今後のビジネスにつなげてほしい」と話した。

に入れている」と、見通しを述べた。

トヨタは1967年にイハツと業務提携。98年には子会社化、小型車を共同開発するなどしている。